



オアシス

ほけんだより

2025.6.30 札幌市立琴似小学校 保健だより No.4

先週は本格的な夏がやってきたような、気温の高い日が続きました。保健室では、暑い日には頭痛を訴える人が目立ちました。今月、学校に、ご連絡いただいた出席停止になる感染症は、溶連菌感染症 4 名、アデノウイルス感染症 1 名、咽頭結膜熱 1 名、水痘 4 名でした。出席停止の感染症ではありませんが、りんご病になっている人も目立ちます。罹患したら、熱が出たり、体がだるかったり、顔が火照ったりします。体調がよくない時は、学校をお休みしていただきますようお願いいたします。

熱中症について

暑くて湿度が高い環境や、スポーツ活動などで汗をかきすぎて水分不足になったり、体温が高くなったりして体にさまざまな障害が起こることを熱中症といいます。

熱中症の症状にはめまい、頭痛、はき気、おう吐、筋肉のけいれん、手足のしびれなどがあります。重症の場合には、意識がなくなり命に関わることもあるので、注意が必要です。



めまい・頭痛



はきけ



けいれん・しびれ

気温が上がりそうな日は**風通しの良い服**を選び、日差しを遮る**帽子**などを着用したりすること、具合が**悪くなる前にこまめに水分**を少しずつとり、定期的に休憩したりしながら熱中症を予防します。

暑さで頭痛を訴える人の中に、長袖を着ている人や、マスクをしたままの人がいます。保健室では体を冷やすために、長袖をまくる、マスクをはずすよう声を掛けさせてもらうことがあります。保健室のでは涼しい環境をつくり、首や頭に保冷剤をあてたり、保健室にある経口補水液を 1 口飲むように伝えたりしてお休みしてもらっています。暑さに弱いお子さんもたくさんいらっしゃいます。そのような場合、可能であれば、首に巻く保冷剤などご用意いただくと助かります。



医療券の申し込みにについて

就学援助を受けているご家庭への連絡です

夏休み中に学校病（う歯・中耳炎など）の治療を希望される方で、医療券を必要とされるご家庭は、**7月22日（火）まで**に、書類または電話にて養護教諭までお申し込みください。
※医療券を使用できない医療機関もありますので、初診の前には必ず医療機関へ学校病医療券を使用することができるかをご確認ください。

健康診断の結果について

6月に実施された健康診断の結果について、お返ししています。学校の健康診断は、病気の診断を行うものではなく、スクリーニング（受診し、詳しい検査を受けた方が良いかを判断するもの）です。集団で行うため、細かな点まで検査できない場合もありますのでご了承ください。検診の結果、疾病の疑

いが見られた場合には、お知らせ用紙が届きます。この時、すでに治療中、定期検診中のお子さんにもお知らせ用紙が届く場合があります。そのような時は、主治医の指示に従ってください。異常なしのお子さんにはお知らせ用紙は届きませんのでご承知おきください。

歯科検診の結果「1の「**歯並び・咬みあわせのことで相談してください**」に○がついた方」向けに、市教委からお知らせ文書が出ています。対象になった方はご覧ください。

1の「**歯並び・咬みあわせのことで相談してください**」に○がついた方へ

札幌市教育委員会

札幌歯科医師会学校歯科委員会

歯並びやかみ合わせは、「食べ物を取り込み、食べる」機能、「表情をつくり、話す」機能や「運動を支え、体のバランスをとる」機能等に直接かかわっており、食生活のみでなく生活の質全体に関係しています。

学校歯科健康診断において、歯並びや咬みあわせで学校歯科医が診断する症状には、「反対咬合」「上顎前突」「歯数異常」「開咬」などがあります。このような症状がある場合、子供の成長発育段階により、噛む・話す・呼吸する・体のバランスをとるなどの発達に影響が見られることがあり、学校での学習に影響がでることもあります。

- 上下の前歯のかみ合わせが前後逆になる「反対咬合」、上の前歯が前方に出ている「上顎前突」は成長発育不全（上顎発育不全・下顎発育不全）を起こしやすくなります。また発育の状況により、歯周病やむし歯のみでなく、嚥下（飲み込み）の時に舌を突き出す癖や口呼吸に関連することもあります。
- 本来生えてくるべき歯数と異なる「歯数異常」は、先天性欠損や埋伏歯、過剰歯がある場合が多く、手術による治療が必要な場合、その後に矯正処置が必要なこともあります。
- かみ合わせたときに前歯に上下の隙間ができる「開咬」の場合は発音（構音）に問題がおき、サ行やタ行が発音しにくいなどの障害が起こることがあります。原因が指しゃぶりなどの癖の場合、癖の中止や早い時点でくちびるの訓練を行うことにより、改善がみられる場合があります。重度の場合は、将来的に矯正治療の検討も必要です。

これらの症状については、お子様の発達段階や個々の症状の程度により、必要となる対応が異なります。それぞれの状況については、専門医を受診する前に、必要に応じて、かかりつけの歯科医師や地域の歯科医師に相談してください。もしくは、学校歯科医に相談したい場合は、学校に連絡してください。

※ このお知らせは、公益財団法人日本学校歯科医会作成の資料を参考にして作成します ※

